

令和4年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

白子町教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法 (学校名: 白子町立白潟小学校)

「理科新聞の作成をとおして学習のまとめをする」

授業の終わりに手持ちのタブレット PC を使い、新聞を作成し学習支援ソフトに保存することで、再確認や振り返りに活用しています。また、面談等の際には保護者にも児童の作品や発表の様子を見せることができ好評です。その他、授業では教室内の電子黒板に顕微鏡を接続して、拡大表示をするなど児童の集中力や学習意欲を高めることにつながっています。

あらかじめ植物の変化の様子などを画像や動画として教材化することで、複数の学級で共有できるだけでなく、教材作成のための時間短縮がなされ、作成をとおして若手教員の研修にも利用できています。



2. 中学校の学習における活用方法 (学校名: 白子町立白子中学校)

【ふるさと教育の推進】にICT活用

白子町では、ふるさと学習の一環として「ふるさと白子 再発見」をテーマに小中学生が一堂に会して、プレゼンテーション大会を行ってきました。しかしコロナ禍でこれまでのように集まることができなくなったため、小、中学校4校と町役場をつなぎ、WEB会議システムを利用して意見交換を行いました。

中学校では、1年生が「総合的な学習の時間」を使って思い思いの意見を出しながら、「ふるさと白子」のすばらしさをアピールするプレゼンテーションを作成しました。発表当日はリモート参加していただいた町長との意見交換をするなど、町の将来を真剣に考えるととてもよい機会になりました。

